



# 伊豆の国市 議会だより

2013年8月1日発行

No.30

編集

伊豆の国市議会だより特別委員会

〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1

☎055-948-1417 FAX 055-948-2913

<http://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/>



写真提供／(社)伊豆の国市観光協会 世界文化遺産 富士山(宗光寺付近より望む)

## 4月臨時会

正副議長就任挨拶	2
新委員会構成	2

## 6月定例会

一般質問	4
委員会報告	10
議案一覧	12

# 4月臨時会 新体制スタート

平成25年度、定数17名となり、新人6名が加わり新たなスタートを切りました。第1回臨時会は、4月30日に、1日の会期で行われました。正副議長の選挙と監査委員の選出が行われ、議長に古屋鋭治氏、副議長に三好陽子氏が就任。監査委員に山下孝志氏が選任されました。



議長  
古屋 鋭治



副議長  
三好 陽子

## 就任あいさつ

四月三〇日の伊豆の国市臨時議会において、正副議長に就任致しました。正副議長就任は、身に余る光栄であると同時に、責任の重さを感じているところであります。

公平・公正な議会運営に努めるとともに、市民の皆様のおついで期待と負託に応えていきたいと考えています。

伊豆の国市は、四月の市長選挙・市議会議員選挙において大きな変化がありました。

静岡県初の女性市長が誕生し、また、議員選挙は定数五名削減で行われ、定数一七名に対し新人六名が当選しました。今回の選挙結果は、市民が行政・議会にチェンジを求めた結果であり、選挙結果を重く受け止める必要があると考えます。

議会は、今回の改選を機に改めてフレッシュな視点で、行政チェックを行います。

女性市長誕生や女性議員が四名に増えたことから、女性の細やかな視点での行政運営やチェック機能が働くことを期待されていると考えています。

議会が、「市民の声をしっかりと聞き、行政にもハッキリものを言う議会」に変わってきたと実感していただける議会の構築を目指していきたいと考えています。

市民の皆様のご支援ご協力を宜しくお願い致します。

## 新委員会構成

委員会の構成が決まりました。総務・福祉文教・観光建設の3常任委員会と議会運営委員会・議会だより特別委員会の5委員会です。委員は次のとおりです。(◎委員長 ○副委員長)

## 議会運営委員会

総務・観光建設・福祉文教の各委員より選出され、定数は六名です。正副議長がオブザーバーとして出席します。

委員会の開催時期は、定例議会開催の一週間前、また臨時議会の告示後一週間以内に開催します。

その他、議会運営に関する事項、関係条例の改正等検討の必要がある場合にはそのつど開催し、議会の運営が円滑に行われるよう審議します。



後藤眞一 渡邊俊一 田中正男  
天野佐代里 ◎水口哲雄 ○鈴木平一郎



柴田三敏 佐野之一  
鈴木平一郎 ◎天野佐代里 ○柴田三智子

## 総務委員会

総務課・政策企画課・財務課・秘書  
広報課・情報システム課で構成され  
る総務企画部と、市民課・課税課・徴  
収対策課・地域安全課で構成される  
市民生活部の二部を所管とし、あわ  
せて会計課・議会事務局・監査委員  
事務局・選挙管理委員会・固定資産  
評価審査委員会・公平委員会の所管  
する事項、並びに他の常任委員会に  
属さない事項を対象としています。



梅原秀宣 渡邊俊一 小澤五月江  
三好陽子 ◎後藤真一 ○鈴木照久

## 福祉文教委員会

社会福祉課・障がい福祉課・高齢  
者支援課・健康づくり課・国保年金  
課で構成される保健福祉部と、教育  
総務課・学校教育課・幼児教育課・社  
会教育課で構成される教育部が所  
管となります。市民の福祉、健康増  
進、介護保険、国民健康保険等に關  
すること、教育委員会、幼・保育園、  
小中学校、生涯学習、スポーツ推進、  
図書館等に関する事項を対象とし  
ています。



水口哲雄 杉尾利治 山下孝志  
古屋鋭治 ◎田中正男 ○内田隆久

## 観光建設委員会

観光商工課・文化振興課・世界遺  
産推進課で構成される観光文化部  
と、環境衛生課・広域廃棄物処理対策  
室・農業振興課で構成される環境農  
政部と、都市計画課・建設課・上下水  
道課で構成される都市整備部が所管  
となります。商業・観光・農業の振興  
に關すること、道路や河川、都市計画  
上下水道、環境保全、廃棄物処理等に  
關する事項を対象としています。

# 一般質問

一般質問は14名が行い、  
当局の考え方を質しました。



## 葦山地区の資源ごみ 回収場所の増設を

田中正男

**問** 長岡、大仁地区は可燃  
ごみの回収場所全てで、

資源ごみの回収もしている。  
それに比べ、葦山地区は公民  
館などの拠点回収となってい  
るため、遠い方などは運ぶの  
に大変苦労している。住民の  
要望する所に回収場所を増設  
して、住民サービスの向上を。

**答** 区長会を通じて区民の  
皆様の意向を取りまと

め、検討していく。回収場所は  
区にお任せし、細かい部分は  
調整をしていく。

**問** 浮橋温泉の故障原因が不明の  
まま施設建設を進めるのか

**答** 五年間でポンプを五回  
交換しているが、いず

れも根本原因が不明である。  
このまま施設建設を進める  
のか。

**答** 施設の規模や利用には  
限界があることや、費

用対効果などを考慮すると、  
現段階では施設建設は得策で  
ないと判断している。



浮橋温泉

**問** 「FMいずのくに」の  
あり方を問う

**答** 「FMいずのくに」は市  
が約七千万円出して、

三セクで四月に開局したが、  
「聞こえない、雑音が入る、放  
送内容に苦情が多い、スポン  
サーが付かない」など、問題が  
多い。市長の考えは。

**答** 観光地なので外へ発信  
する必要がある。今の

FMの方針と私の考えとは違

うが、今は議会の議決を尊重  
している。

## 田京幼稚園の跡地は 売却せず、住民の声を 反映し活用を

三好陽子

**問** 今年一月に田京区から  
「田京幼稚園の跡地を

市民安全広場に」との要望が  
出された。さらに田京区在住  
の方から「売却せずに市有地  
として残すこと」を求める陳  
情書が、地域住民の賛同署名  
五〇三筆を添えて市に提出さ  
れた。

田京幼稚園の跡地は、売却  
せずに残して公共用地として  
活用すべきと考えるが。

**答** 護国塔や公蔵免遺跡と  
いう後世に伝えていく

べき貴重な財産・文化・先人た  
ちの思いも残されているので、  
地域の方のご意見も伺いなが  
ら、慎重に検討していきたい。

**問** 小中学生の遠距離通学費は  
保護者負担ゼロに

**答** 分校等の統廃合により、  
自家用車で二五人、バ

スで一五三人が遠距離通学を  
余儀なくされ、子ども一人当  
たり年間約二万二八〇〇円が  
保護者負担となっている。遠  
距離通学費の保護者負担はゼ  
ロにすべきと考えるが。

**答** ゼロにするという解消  
の方針に向けて、軽減

に取り組んでいく考えです。  
できるだけ早くやります。



護国塔

田京幼稚園の跡地

伝統芸能会館建設計画は  
本当に必要なのか

佐野之一

問

伝統芸能会館の建設計画が事業の一環としてありますが、この施策が果たして市の活性化と伝統芸能文化の保存にあたるのでしょうか。箱ものを造って満足するパフォーマンス事業の時代ではありませんので、実の伴う計画を考えてください。

答

伝統文化を守り、次の世代に引き継いでいくことは非常に重要なことであり、拠点となる施設を生み出すことは市の施策として実行する必要が有ると思っております。新たな施設を建設することについては、財政負担が大変多く、施設の稼働率など将来的な不安要素を指摘する厳しい意見が多々あるので、建設計画を進める前に、慎重に有

用性を検討していきます。

問

伊豆の国市都市計画マスタープランはマニュアルに沿って実行していますか。

答

各地域の狭隘道路の解消に向けての行政指導及び拡幅工事実現の見直しについては、拡幅用地を市に寄附をする場合の諸手続きに掛かる費用を助成しています。今後も用地交渉を進め、通り抜け可能路線や通学路等の整備を優先的に事業推進していきます。蛭ヶ島から葎山時代劇場に走る道路は、国道への直接アクセスが理想であるので、実施の検討が必要と考えています。

問

旧葎山西幼稚園の跡地を中條区の防災広場と平時でのコミュニティ広場に活用することについては。

答

市役所内部でも跡地利活用について再度検討をしていくと考えています。

暮らしやすい  
まちづくりのために

梅原秀宣

問

急激な人口減少に歯止めをかけるために思い切った政策を早急に行うべきと考えるが、市長の考えは。

答

子育て支援、企業誘致による雇用創出、若者が住みやすい環境づくりなどが、現在行われている事業をどうするかをまず考えなければならぬ。

問

中條区は旧葎山西幼稚園の跡地を防災広場並びにコミュニティ広場として活用したいと要望しているが、市長の方針は。

答

防災拠点としたいというところに反対はしていない。要望に沿った形で進めたいと考えている。

問

県道一三六号函南停車場反射炉線奈古谷く

多田間は歩行者にとって大変危険な道路であるので歩道を設置したほうがよいと思うが、市長はどう考えるか。

答

函南方面への比較的交通量も多い道路であるので歩道の整備を県に要望していくが、地域からも声をあげてほしい。



県道136号線 (多田)

問

高齢化が進み、病気になるらない工夫として健康づくりの取り組みや、自主的に運動を行える施設の充実が急がれると思うが、市の対応は。

答

時間がないなどの理由で運動習慣を持たない人が多いが、行政主導で健康づくり支援活動を熱心に行っており、今後その成果が表れると思う。

災害対策用防災倉庫の  
機材整備について

小澤五月江

問

防災倉庫内の簡易トイレは避難人数に対して必要数を満たしているか。また車イス対応トイレが五台というのは検討すべきではないか。

答

今後改めて出される第四次地震被害想定を受け修正していく必要がある。

問

車イス対応トイレの組み立て経験はあるのか。今後、訓練で迅速に組み立てられるようにしたい。

答

災害弱者に対しての防災資機材の備蓄については、女性や介護の経験のある者の参画が必要ではないか。

答

女性や介護者及び障害者がある方の視点や多くの皆様のニーズにえられるものに見直していく必要がある。

**問** 「FMいずのくに」は災害訓練に参加するのか。

**答** 訓練会場や避難所に参加する非常呼集の訓練を検討している。



FMいずのくに

担当が少なく接種できるようにしていただきたい。

**答** 現在、風疹予防接種は麻疹の混合ワクチンとして一才から二才まで、就学前一年間に接種することになっていきます。これまでの接種状況が九〇%以上であったこと、平成二〇年から二四年度までの経過措置として、対象者拡大で五一才迄の女性と、三四才迄の男性の殆どに予防が図られています。

**風疹予防接種助成制度について**

杉尾利治

**問** 最近風疹の流行が懸念され、特に一九才から四六才の妊娠希望女性の方の感染は危惧され予防接種が呼びかけられています。予防接種に対する助成を始めた自治体もあり、伊豆の国市でも助成制度を検討し、負

で準備にはいい、強い道路命を守る道路を造る気持ちで取り組んでまいります。

**スポーツワールド跡地への順天堂病院移転について**

**問** 順天堂病院は県災害拠点病院です。条件に「応急収容するために転用する場所が有る事」があります。しかし、同病院は狭い地形の場所にあり道路も同様。東海地震発生時には入院・外来患者で溢れ、救急搬送される負傷者救護に適した場所とは思えません。

**答** スポーツワールド跡地移転を検討すべきと考えます。今までは病院側との話し合いの中では移転の話が出たことはありません。新たに建て直すかどうか、大学側のお考えがあるかと思えます。それらを聴く機会を持ちましてこちらにも心構えをしていきたいと思っております。

**住んでよし、訪れてよしのまちづくり**

内田隆久

**人にやさしいまちづくりについて**

**問** 田京駅から伊豆保健医療センターまでの歩道は、人ひとりがすれ違えないような状態です。大仁駅から老人憩の家(水晶苑)までの歩道も交通量が多く危険な状況です。

**答** 地元区を中心に住民の意向がある程度まとまれば、市も一緒になって説明会等進めていきたい。

**問** 葦山反射炉の世界遺産認定後に、時間をかけてより多くの住民が参加した

計画を再策定していくべきではありませんか。

**答** 現在は、平成二七年度の世界遺産認定に予定を合わせているが、その後については、時間をかけて広く意見を集約するように検討する。

**世界ジオパーク認定と観光振興について**

**問** 教育部門が主体となつて市内ジオサイトの啓蒙等をしていく考えはありますか。

**答** 知事の考え方も「地元が知ることから」と説いているので、教育分野から広めていく。

**問** 大仁橋たもとの水晶山をジオサイトとして活用するための遊歩道整備についてどのように考えていますか。

**答** 狩野川台風の被害の歴史を知る貴重なジオサイトとして認識している。積極的に整備をしていく。

**液化化対策避難路建設について**

**問** 予知無く東海地震発生道路の狭い地域では液化化対策を施した避難路を建設して車イスの方でも安全に避難できるようにする必要がありますかと思えます。

**答** 今までは避難路が指定されていないということ

### 前市長の事業計画に 対し、中止・見直し・今 後の展開について

山下孝志

**問** 人と動物の共生未来センターについては。

**答** スポーツワールド跡地は、観光、産業、公園、スポーツなどの利用を考慮しており、共生未来センターの建設はしない。利活用は公募の検討委員会で、意見集約する。

**問** イズフットボールヴィレッジ(サッカー施設)については。

**答** 北江間砕石場の跡地利用は、財産区議会など関係者と十分検討したい。

**市長所信表明から、各種事業の取り組みについて**

**問** 長岡焼却場廃炉と、周辺住民の健康調査は。

**答** 新施設完成後、長岡・葎山の施設は廃炉とする。

長塚区、珍野区、花坂区の聞きとり調査をする。

**問** 保育料の軽減についてその取り組みは。

**答** 市の保育料の中で、他市と比べ高い階層があるので、平成二六年度から軽減を実施したい。

**問** 学童保育四年生までの拡大を提案する。

**答** 四年生まで拡大したいと考えている。今後施設の増築、指導員の増員が必要となるが、平成二七年度からと考えている。

### 伊豆の国市の市民協働 のあり方・今後について

柴田三智子

**問** 市長は所信表明の中で「これからは新しい公

共という形で、市役所と市民の協働による事業を進めることが必要で、市との情報共有を進めていくと共に、市民の

市政参画の場を拡充して参ります。」と述べていますが、市民協働については、どのように考えていますか。

**答** 市民協働については、市民活動団体が行政とお互いの立場を理解し合い、不特定多数の方の利益の増進を図るための共通の目標

に向かって対等な立場で努力し、その成果と責任を共有し合う関係と言えらると思えます。様々な分野において市民の提案に添えていくことは大切だと考えています。

### 源氏山を利用したボラン ティアツームの環境・ 観光事業について

地域観光推進事業を市

**問** 民の視点を入れて見直し、そこで捻出した費用を源

氏山の市民協働事業・ボランティアアツーム事業費の一部にする考えはありませんか。

**答** 平成二五年度の地域観光推進事業費予算を市民の視点で見直すことも検討していきたいと思えます。

源氏山については、市民からの具体的な提案がありまして、たからお聞かせいただきたいと考えております。



市民活動による販売

### 市長の所信表明について

渡邊俊一

**問** 伊豆の国市の基本構想についての考えは。

**答** 第一次総合計画は、合併時に策定された新市

まちづくり計画をもとに、合併後の平成一九年に策定されました。この計画は市民や有識者らが策定に関わり、本市の魅力や資源を最大限に活用

して、目指すべき将来像を定め、議決を経たものであるから、尊重していくべきものと考えています。

**問** 宗光寺排水機場のポンプ能力の改善要望は。

**答** 四市三町で構成する狩野川改修促進期成同盟会において、排水ポンプ増設の早期事業着手を強く要望しているが、国土交通省からの明確な回答は得られていません。

**問** 狩野川桜公園から松原橋間の河川敷は、高齢

化で耕作放棄が進んでいる。竹の侵入もあり、九五%以上の地権者が手放しても良いと言っている。堤防上の道路を二車線にして、災害時の非常用道路として利用する考えは。

答

国道一三六号の通行が  
出来ない場合には、有  
効な手段と考えます。しかし、  
河川敷地の占用区域を増加す  
る行為となり、占用者の負担  
行為となりかねないので、拡  
幅工事の実現性も含め、慎重  
に検討して国土交通省に要望  
していきます。

答

草刈り・除草・剪定な  
どについては、年四回  
実施しています。公園内にあ  
る倉庫等は、調査の上、対処  
します。木竹の整備について  
は、良好な自然的景観を保全  
する区域とされている風致  
地区内であるため源氏山公  
園については、伐採等の整備  
をする計画はない状況にあ  
ります。

問

市の観光資源の一つで  
ある源氏山公園を市と  
してこれから観光にどのよう  
に位置づけるのか。

答

旧伊豆長岡町の時代か  
ら、観光活用にと多く  
の観光プランが出ており、七  
福神めぐり、展望台・展望広場  
の設置等がありますが、源氏  
山は風致地区に指定されてお  
り、開発する場合には多くの  
規制等がかかり、観光資源と  
しての利活用が難しい場所で  
あります。



桜公園～松原橋の河川敷

## 源氏山公園について

柴田三敏

問

源氏山公園の清掃・景  
観・木竹の整備につい  
ては。

今回、既存の観光施策全体

を見直すため、平成二五・二六  
年度の二カ年をかけて観光基  
本計画を策定します。その中  
で源氏山を観光資源とした新  
しいプランの創設も議論の対  
象となりますので、そこで検  
討していきます。

として捉えています。  
今後、市民の意見を取り入  
れる場として、スポーツワー  
ルド跡地検討委員会を設置し  
てまいります。



源氏山公園

## スポーツ振興について

鈴木照久

問

スポーツ施設について。  
スポーツワールド跡地  
の活用も選択肢の一つ

富士山をめがけて走り抜ける大  
学女子駅伝が出来れば良いと  
思っております。

大学女子駅伝は、毎年杜の  
都仙台市で開催される全日本  
大学女子駅伝と、今年四年ぶ  
りに復活して十二月二三日に  
富士市を中心に開催される予  
定の全日本大学女子選抜駅伝  
の二大会があります。

今後、本市の地形や歴史を  
生かした市民参加の大会を考  
えたいと思います。

問

伊豆マラソン・市駅伝  
のコースについて。

答

伊豆マラソン・市駅伝  
の走路設定には、警察  
の協力のもと、走者の安全性・  
走りやすさ・応援のしやすさ  
等に配慮しています。事務局  
としては、国道一三六号を走  
らせたいと思っています。

問

大学女子駅伝について。

答

河津桜・菜の花も咲く  
下田から三島まで、富

問

大学別・男女混合駅伝  
の企画は。

答

素晴らしい発想だと思  
います。努力したいと  
思います。



**FM放送局とは  
リスク分担を  
後藤眞一**

**問** これまでの営業実績は。

**答** 六月一〇日現在、CM九件。番組契約二〇件。

**問** 災害発生時の契約は。

**答** 緊急放送に関する協定書は、これから契約して進めると聞いている。

**問** 筆頭株主の権限や意見具申などは。

**答** 独立した株式会社です。別なことがない限り指示や注文はしない。

**問** 会社とのリスク分担を。

**答** 放送局の必要性や、議会の今の考え等を集約して考えたい。

**子育て支援、発達支援は**

**問** 発達障害への早期療育は。

**答** 相談体制は整え、具体的方策を模索中である。

**問** 保育要望の多様性への対応は。

**答** 保護者の負担軽減をすべく、協議を重ねて、本市に合った施策を進めたい。

**問** 子育て支援と発達支援のワンストップサービスは。

又は。

**答** 教育・福祉・保健等との連携をとりながら、鋭意進めたい。

**市政の運営方針は**

**問** 市政運営方針と新しい公共の具体的に求めるものは。

**答** 公平・公正・クリアな市政を心がけ、市民や諸団体との協働による市政の充実を図りたい。



**交通網を生かした  
まちづくり**

天野佐代里

**問** 東駿河湾環状道路の伊豆中央道への乗り入れ

**答** により、交通アクセスが飛躍的に改善される。誘客に結びつける進路については。

**問** 伊豆中央道長岡北インター及び、長岡インター

**答** ター付近には伊豆長岡温泉入り口という案内看板、大仁中央インター及び、大仁南インターには大仁温泉入り口という案内看板を、それぞれ設置し対応していきたい。

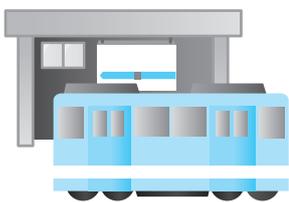
**問** 伊豆中央道の無料化、フルインター化の実現については。

**答** 修善寺道路との合併採算性には反対で、平成二七年三月末をもって料金所は無料化に、立体化は県の責任においてという事で、七月早々には県・県議会へ要望を出す予定である。

**問** 鉄道駅周辺の整備・有効活用については。

**答** 今後のまちづくりを考える中でも重要な課題であると認識している。

伊豆長岡駅は、伊豆の国市の玄関口であり、商工会により駅周辺の整備計画が検討されたが、関係機関と改めて地域の魅力を高めていくための知恵を出し合うことも必要と考える。



**農業の六次産業化・伊豆の国  
ブランド等の産業振興策**

**問** 六次産業化・中山間地の農業の促進とは。

**答** 高齢化・後継者不足は深刻であり、遊休農地の増加が課題。

近年、後継者のいない農家の農地や遊休農地を企業等が借り上げ、大規模な農業を展開し始めており、意欲的な人達を積極的に支援していく必要があると考える。



大根干し (田中山)

# 常任委員会報告

6月定例会で行われた、平成25年度補正予算をはじめとする審議内容についての各常任委員会の報告です。

## 総務委員会

平成二五年度一般会計補正予算

●人事管理事業一四万二〇〇〇円の増額は。

障がい者の雇用率を上げるために、七月から三月までの九ヶ月間、雇用する一名分の給与。

●地域づくり推進事業の八〇〇万円については。

中区放送設備整備事業費補助金は放送設備設置等、二二〇万円。

天野区コミュニティ活動備品等購入事業費補助金は、折りたたみテーブル・液晶テレビ等で一六〇万円。

町屋区コミュニティ活動備品等購入事業費補助金は、アルミテント・折たたみイス等で二四〇万円。

田京区祭礼衣装購入事業費補助金は、三番叟翁用衣装で一七〇万円。

伊豆の国市税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正により、伊豆の国市税条例の関連する条項について一部を改正するもの。延滞金の率を引き下げる改正・復興特別所得税の施行に伴う個人市民税の寄附金税額控除の調整に関する改正等。

●復興支援税による具体的な影響は。

一月一日から、所得税額に対して二・二%を乗じた額が差し引かれている。住民税では、平成二六年度から三五年度までの一〇年間に均等割りの額が一〇〇〇円増額になる。

## 財産の取得について

伊豆の国市土地開発公社名義の土地を一団の土地として利活用するために、売買代金六億五七二万二五五六円で取得するもの。

●取得金額は何を根拠にして決定したのか。

土地開発公社が平成一七・一八年度に取得した時の価格と、建物を取り壊した費用・借り入れた金融機関の利息分の合計。

●土地開発公社の今後は。

現状では土地の先行取得というのはいらない。しかし、社会がどのように変わるかわかりませんので、もう少し時間を置いてから必要性を検討してまいりたい。



土地開発公社が約3割所有（スポーツワールド跡地）

## 福祉文教委員会

平成二五年度一般会計補正予算

●寄附金五万円の積み立ては。

福祉対策基金に積み立てる。現在残高一億二九三万五〇〇〇円。目的等は条例制定されている。使用の予定はない。

●小規模高齢者福祉施設スプリンクラー設置は。

平成二二年消防法改正により、二七五㎡以上の小規模施設も対象となった。

「しあわせの家」は、法規制の対象外であるが、運営実態から市で設置を呼び掛けたところ、県の補助金（一㎡九〇〇〇円）を得て設置をすることにした。

●国の教育費補助金・小中学校校理科教育設備整備費等補助金八〇万三〇〇〇円の減額は。

平成二五年度当初予算で組んだが、文科省からの要請

で本年二月緊急経済対策の  
有利な補助制度を使うこと  
になり、当初予算の減額と  
なった。

●国庫・県負担金。自立支援  
医療負担金一三〇万円の減  
額は。

権限移譲に伴う担当課の  
変更。育成医療費負担金の同  
額増。子ども医療費は自己負  
担がない。国や県の負担金制  
度を利用することで、市が財  
政的に有利になる。

※「育成医療」とは

医師が障害を判断し、市の委託判定医に認定されて対象となる。障害は、手術で治療するもの。成長後の外科的手術の治療や補助具使用なども対象となる。



●人事異動に伴う人件費の補  
正であるが、職員数の増減の  
理由は。

幼児教育課三八六万三〇〇  
〇円の減は、育児休暇入りの  
ため。保育園職員四八三万二  
〇〇〇円増は、当初予定より  
二名の正規職員増員。幼稚園  
職員七七八万四〇〇〇円の減  
は、当初予定より二クラス減  
で、担任二名の減である。

●富士見幼稚園、不動産鑑定  
対象の借地は。

不動産鑑定対象の土地は、  
一〇二九㎡の雑種地で、地主  
から買い取りの要望があり不  
動産鑑定をするも、希望価格  
とは開きがあり売買の決定は  
していない。他に二件の借地  
がある。

観光建設委員会

平成二五年度一般会計補正予算

●県補助金一五四一万七〇  
〇〇円で行う、失業対策事業  
の観光コーディネーター育  
成事業とは。

失業者三人を来年三月まで  
雇うもので、一人は芸妓組合  
の事務局機能強化に。もう一  
人は、市が本年度から二年間  
をかけて策定する観光基本計  
画に関する各種調査事業等の  
業務に。もう一人は、観光案内  
所のサービス強化向上のため  
に雇用する。

●歳入の県商工費補助金の消  
費者行政活性化基金事業費補  
助金七二万六〇〇〇円は。

市が毎週二回二人体制で  
行っている、消費者相談の相  
談員への県の補助金。平成二  
四年度で終了としていたもの  
が、二五年度も継続となった。

●県補助金の準用河川等改修  
事業補助金六六七万円は。

準用河川堂川流域浸水対策  
事業で、堂川に調整池を造る  
ための測量設計と、宗光寺地  
区の調整池、バイパス河川等  
を考えて測量等を行う。

●県委託金で行う道路橋梁新  
設改良事業の、道路用地の購  
入と物件補償の単価はどのよ  
うに決定したのか。

県が行う田京山田の谷戸  
川砂防工事の、市道付け替え  
に關しての道路用地で、買収  
単価は県が鑑定評価した一  
㎡五〇〇円。また、檜ひのき二四本  
の物件補償六万一〇〇〇円  
は、一本一本大きさを調べて  
鑑定した。

今回は公共雨水対策の神島  
ポンプ場の建設を優先するこ  
ととした。補助金の減額によ  
り、公共下水道整備事業を延  
期し、今後の補助金のつき具  
合によって再開する予定。



神島ポンプ場完成予想図

●長岡古奈・天野雨水幹線実  
施設計委託料九二〇万円の減  
額は。

はなぶさから黒柳の間の雨  
水排水路を整備する予定だつ  
たが、一緒に行う県事業の道  
路拡幅と歩道整備の工事が遅  
れているため、神島ポンプ場  
建設を優先的にした。

●公共下水道整備事業では、  
国の補助金の減額により、取  
りやめとなる事業があるが、  
今後はどうなるのか。

下水道事業特別会計補正予算

# 平成25年 第2回(6月)伊豆の国市議会定例会

第2回定例会は、6月10日から27日までの18日間の会期で行われた。条例の一部改正3件、補正予算5件、財産の取得、副市長の選任の同意、議員発議の意見書の提出についてなどが上程され、慎重に審議し原案どおり可決承認された。

## 議案等一覧

- ◆専決処分の報告 平成24年度一般会計繰越明許費、損害賠償の額の決定及び和解についてなど
- ◆平成25年度伊豆の国市一般会計補正予算(第3号)  
歳入歳出の総額に1,919万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を179億700万円とするもの
- ◆平成25年度伊豆の国市特別会計補正予算  
国民健康保険(第1号)・介護保険(第1号)・簡易水道等事業(第1号)・下水道事業(第1号)
- ◆条例の制定 伊豆の国市税条例の一部を改正する条例の制定、伊豆の国市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定、伊豆の国市都市計画審議会条例の一部を改正する条例の制定
- ◆その他 財産の取得、教育委員会委員の任命の同意、監査委員の選任の同意、人権擁護委員の推薦、副市長の選任の同意について
- ◆議員発議 消費税増税の延期を求める意見書の提出について

9月議会の予定  
9/5(木)…… 議会初日



梅原秀宣 佐野之一 鈴木照久  
杉尾利治 ◎柴田三智子 ○内田隆久

## 議会だより特別委員会

伊豆の国市は女性新市長となり、議会におきましても四人の女性議員が誕生しました。

議会だよりの編集にあたって女性の視点を取り入れた誰からもわかりやすく、身近に感じられる議会だよりを目指していきます。

市民の皆様からご意見・ご要望をお寄せいただき、一緒になって紙面を充実させていきたいと思えます。

(委員長 柴田)

議会だより  
特別委員会

委員長	柴田三智子
副委員長	内田隆久
委員	梅原秀隆
委員	佐野之一
委員	杉尾利治
委員	鈴木照久

編集後記

過日、今年還暦(華甲ともいう)を迎える卒業生の同窓会に出席する機会がありました。

この学年は、新入生・新教員という関係で四〇年近い教員生活で特に、思い出の多い学年でした。女学校の教師には向いていない教育実習も、男子校(駒大附属校)に変更していただき実習・面接で、理事長先生の優しい問い掛けに断りきれずにお世話に。

当日、懇談の中「先生、優しくなりましたね」・「就職し温室育ちの自分分分かり、積極的になりました」・「部活での厳しさ良き思い出です」等々。

帰りの新幹線、参加者名簿を再度見ながら「アリガトウ……」

(照)